授業科目名・形態	看護研究　　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	岩間　薫　　他	実務経験の有無	有	開講期	4年前期・後期
科目ナンバリング	N7-4016npmht				

【授業の主題】

看護研究は学士課程の集大成であり、卒業後さらに研鑽を重ね、創造的に専門性を深めるための基盤を形成するものです。３年次の「研究方法論Ⅰ」「研究方法論Ⅱ」で学んだ知識を踏まえ、作成した研究計画書に沿って、担当教員の指導のもとで学生が主体的に看護研究を実施します。データの収集・分析・倫理的配慮・論文の作成・研究発表の一連のプロセスを実践し、最終的に論文に集約して完了することになります。

【到達目標】

１．研究課題に関する文献検索により、先行研究を分析し、課題を絞り込むことができる。
２．研究目的に沿った研究方法を選定し、研究計画に従い研究を進めることができる。
３．データの収集･分析を行い、論文を作成することができる。
４．一連の研究活動を通し、研究のプロセスを理解する。
５．グループメンバーとの協力や協同的な態度を身につける。

【授業計画・内容】

１．学生は原則として「研究方法論Ⅱ」の担当教員に指導を受け、個人またはグループ研究を継続する。
２．論文提出は９月末日までとする。
３．全体での研究発表は行わないが、専門分野ごとの発表や大学祭での発表を行う。
４．『看護研究論文集』を発行する。10 月以降は編集作業に入り、校正を経て３月の発行を目指す。

【授業実施方法】

演習。ゼミナール形式で行う。

【事前・事後学習】

・担当教員からの指導を受け、次回授業まで必要な準備や連絡調整を主体的、積極的に進めること。
・研究計画書に従い研究を進め、トータル 30 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

研究方法論Ⅰ、研究方法論Ⅱ、統計学、保健統計学、臨地実習

【教科書等】

「研究方法論Ⅰ」と同じ

【参考文献】

「研究方法論Ⅰ・Ⅱ」と同じ

【成績評価方法】

看護研究評価用紙（研究の実施状況 30%、論文の内容 45%、研究への取り組み姿勢 25%）に基づき、担当教員が評価を行う。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院での看護職（看護師・助産師）として患者やその家族への対応等の実務経験あり。
実務経験から得た看護実践に関する知識や技術と深く関わりを持った研究ができるように授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

「看護研究」での学びは学士課程のみならず、卒業後に専門職者として業務を遂行していく上での基盤となるものです。また、「看護研究」を行う過程において、大学教育の柱である「問題提起・問題解決法の修得」を学び、学生生活の充実感を味わうことを期待します。看護実践の創造的な開発を追及するための基礎能力を育成するという観点から、看護実践と深く関わりを持った研究を行うことが望まれます。
担当教員やグループメンバーとの協同的・協調的交流は、これからの人生に大きな影響を与えることと思います。有意義な学生生活の締めくくりとなることでしょう。